



DNW-22003 の概要

課題名 : がん特異的活性化エンハンサー領域の同定による新たな治療法の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

佐藤 卓 (国立大学法人東京医科歯科大学難治疾患研究所)

ステージ: 標的検証後期

【標的疾患】

扁平上皮癌(主に舌癌)

【創薬標的】

がん特異的活性化エンハンサーに制御される癌関連分子

【創薬コンセプト】

扁平上皮癌細胞特異的に活性化したゲノム上の活性化エンハンサー関連遺伝子の解析・検討により見出した標的候補分子を同定し、その中から選抜された分子を標的とする新規抗癌剤

【ターゲットプロダクトプロフィール】

舌癌をはじめとする扁平上皮癌に対して、癌選択的に発現亢進している悪性化因子を阻害することで、単剤又はシスプラチン等との併用により腫瘍退縮・治療抵抗性阻害作用を発揮する薬剤

【モダリティの設定】

低分子化合物、核酸、抗体等

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 活性化エンハンサー領域の検出を高感度に実現可能な解析手法を見出した。
- 2) 患者組織由来の癌細胞及び正常細胞を評価系に利用するノウハウ・技術を確立した。
- 3) 腫瘍内不均一性及び患者間多様性を加味した薬効評価系を構築した。

以下のことが創薬プースター支援 (DNW-19020) により明らかにされている。

- 1) 活性化エンハンサー領域近傍遺伝子の解析から、抗がん剤の耐性能獲得に重要な分

子候補を見出した。

- 2) 当該標的候補分子の機能阻害実験から、当初想定した標的分子の探索戦略の妥当性が示唆された。

【支援ステージにおける目標】

1. 選択された標的候補分子について、抗腫瘍効果と、正常細胞への影響が少ないことが確認されること。
2. 創薬コンセプトに基づいて選抜された標的分子に対するスクリーニング法の候補が選定されていること。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。